

2021年12月13日
(更新日：2021年12月14日)

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ
カスタマーサービスセンター
HULFTテクニカルサポートセンター

Apache Log4jの脆弱性による弊社製品への影響について

拝啓

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
2021年12月10日に公開されたApache Log4jの脆弱性(CVE-2021-44228)によるHULFT
及び関連製品の影響と対応方針についてご報告をさせていただきます。

敬具

-記-

各製品については、最新バージョンの対応について記載をさせていただいております。
また現在調査中の製品につきましては、調査完了後に本文書を更新することでの告知とさせていただきます。

■HULFT

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■HULFT Script

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■HULFT-WebFileTransfer

現在調査中です。

■HDC-EDI Base/HDC-EDI Manager

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■iDIVO

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ HULFT-WebConnect

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ HULFT IoT

現在調査中です。

■ DataMagic

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ SIGNALert

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ HULFT-HUB

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ DataSpider Servista、DataSpider Servista with Software Protection

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ DataSpider Cloud

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ PIMSYNC

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ DataSpider BPM

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ Thunderbus

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

■ HULFT DataCatalog

本脆弱性の発生要因となるモジュールは使用されていないため、影響はありません。

※備考

[該当の脆弱性情報]

JPCERT/CC

Apache Log4j の任意のコード実行の脆弱性（CVE-2021-44228）に関する注意喚起

<https://www.jpcert.or.jp/at/2021/at210050.html>

【改訂履歴】

2021年12月13日	初版作成
2021年12月13日	調査完了製品を更新
2021年12月14日	調査完了製品を更新

以上